

Takoyakiboy 幼大連携の試み

京都光華女子大学こども教育学科では、早期英語教育の専門家が幼稚園での英語指導に関わり、ネイティブ教員・担任の先生・保護者・専門家がチームとなってこどもの英語学習を支える試みをスタートしています。本年度より、月に一度幼稚園児が大学の保育実習室という施設を使つての指導を始めました。

4月より、**Learning By Storytelling**という絵本を使つての最先端早期英語指導法で2人の経験豊富なネイティブの先生が教えています。まず最初のお話は「Takoyakiboy」というオリジナルストーリーです。



ネイティブの先生の豊かな表情やジェスチャー、それに楽しい絵本で子どもたちは日本語の助けを借りることなく、お話の内容理解をします。日本語に訳すことなく、頭の中で「strong って言ってる」「これって強いって意味やろか」と推測したり、前にこぶしをつきだして fight!fight!fight!と言いながら一緒に体を動かしてみたりします。このようにお話を使つて、思考したり身体性を使う英語指導は子どもたちの記憶に長く残ります。

先日は Storytelling の3回目のレッスンでした。

子どもたちは、4つか5つの少人数に分かれ各チームの先生方と7枚の絵カードをお話の順番に並べ、そのお話を英語で再話することに挑戦しました。2度の読み語りで頭の中に入った英語を自分の口で言ってみる活動です。

お話をそのまま言つても、自分の思い付いた英語で何か言つてもいいのです。お話を通して覚えた英語なので、単語も英語表現もみんな文脈を通して理解できています。また驚くほど上手にきれいな発音で英語が話せていました。東京から見学に来られた早期英語教育の専門家も驚いておられました。来週には、それぞれの登場人物になりきつての英語劇に挑戦します。

今後は広く大学生にも公開し、幼稚園児が英語を学ぶ姿をみて、今後どのように英語指導を行うべきかの理解を深めていきたいと思つています。

京都光華女子大学 子ども教育学部 教授 田縁真弓

